

令和元年度匝瑳市後期高齢者医療特別会計決算の概要

市民課保険料班
0479-73-0086

令和元年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入が前年度比3.8%の増、歳出が3.8%の増となりました。その結果、実質収支額は163万円の黒字となりました。

1 令和元年度後期高齢者医療特別会計決算収支の状況

令和元年度の後期高齢者医療特別会計の決算は、歳入が前年度比3.8%増の4億3,662万7千円、歳出が前年度比3.8%増の4億3,499万7千円となりました。

その結果、令和元年度の実質収支額は、163万円の黒字となりました。

(単位:千円)

区分	R元年度 ①	H30年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
歳入総額 A	436,627	420,527	16,100	3.8%
歳出総額 B	434,997	419,181	15,816	3.8%
歳入歳出差引額 C=A-B	1,630	1,346	284	21.1%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実質収支額 E=C-D	1,630	1,346	284	21.1%

実質収支額の推移

(単位:千円)

年度	H27	H28	H29	H30	R元
実質収支額	2,098	579	1,485	1,346	1,630

2 歳入決算

(単位:千円)

区分	R元年度 ①	H30年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
後期高齢者医療保険料	295,043	273,919	21,124	7.7%
繰入金	125,387	128,875	△ 3,488	△ 2.7%
繰越金	1,347	1,485	△ 138	△ 9.3%
諸収入	14,850	15,276	△ 426	△ 2.8%
× 国庫支出金	0	972	△ 972	皆減
計	436,627	420,527	16,100	3.8%

《主な増減要因》

- (1) 後期高齢者医療保険料
保険料の軽減措置の変更等による増加
- (2) 繰入金
基盤安定負担金の減少による減少

〈人口、被保険者数の状況〉

(単位:人)

区分	R元年度 ①	H30年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
人口	35,881	36,466	△ 585	△ 1.6%
75歳以上の高齢者人口	6,296	6,314	△ 18	△ 0.3%
被保険者数(障害認定者含む)	6,278	6,291	△ 13	△ 0.2%

※人口、75歳以上の高齢者人口及び被保険者数は年度末

3 歳出決算

(単位:千円)

区分	R元年度 ①	H30年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
総務費	26,180	23,992	2,188	9.1%
後期高齢者医療広域連合納付金	394,251	380,504	13,747	3.6%
保健事業費	13,950	14,477	△ 527	△ 3.6%
諸支出金	616	208	408	196.2%
計	434,997	419,181	15,816	3.8%

《主な増減要因》

(1) 後期高齢者医療広域連合納付金

後期高齢者医療保険料の増加による増加

〈医療給付費の状況〉現物給付(医科、歯科等)

(単位:円、件)

区分	R元年度 ①	H30年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1人当たり医療費	710,678	687,963	22,715	3.3%
1件当たり医療費	28,982	28,853	129	0.4%
1人当たり受診件数	25	24	1	4.2%

〈医療給付費の状況〉現金給付(高額療養費等)

(単位:円)

区分	R元年度 ①	H30年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1件当たり給付費	7,775	8,379	△ 604	△ 7.2%